

科目	老年心理学	担当	牧野 多恵子	履修学年	3年
時間数	90分×時限×8回(週1回)	履修区分	選択	単位数	1単位

【授業目標・到達目標】

高齢者の心理を理解するための視点を学ぶ。高齢者一人一人の理解・対応・支援に役立つ、「老い」・「病」・「死」に関する正しい知識を習得する。さらに本科目では、知識の習得とともに、作業療法・理学療法実践への応用方略を身に付けられることを目指す。

【履修注意】

- ・受講生の関心・理解度によって、授業の内容は変更することがある。
- ・授業中の私語、携帯電話・スマートフォンの使用は禁止とする。

【評価方法】

ショートレポート1回(40%)、期末レポート試験(60%)にて、総合的に評価する。

【試験について】

レポート試験

再試験対象者の条件:再試験は実施しない

【予習・復習】

予習:事前に該当する内容に関する情報を収集する。(30分)

復習:配布プリントなど参考にノートを整理する。(60分)

【教科書】

書籍名: 指定しない

【参考書】

書籍名: 老いのところと寄り添うところ 著者: 山口智子(編) 出版社: 遠見書房

【その他の注意事項】

【授業計画・内容】

回数	項目	内容
1	老年期とは 1	老年心理を理解する視点・老年心理を学ぶ意義
2	老年期とは 2	老年期の身体的・社会的・心理的变化
3	老年期とは 3	老年期の社会的関係
4	老年期の精神疾患 1	老年期に生じやすい精神疾患
5	老年期の精神疾患 2	認知症
6	老年期の精神疾患 3	高齢者に対する心理的援助
7	死について	死と看取り
8	おわりに	7コマの復習・確認・総まとめ・レポート試験
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		